

ヤマホール

株式会社 ヤマワ

泥濃式推進工法は、高濃度泥水を利用し、切羽の安定を図りながら推進し、排泥は真空吸引による方法が取られています。この方法で作業を進めるに当り、作泥材は重要な役割を占めています。この度開発されました「ヤマホール」は、従来の製品に比べて、誰にも簡単に作液出来、十分な性能を持った製品であります。その特長と使い勝手の良さをご理解いただき、ご利用いただきますよう切にお願い申し上げます。

1. ヤマホールの特長

- わずかな使用量により十分な性能が発揮されます。
- 従来の材料使用量に比べて使用量が低減します。
- 材料置場、使用量の低減により作業環境が改善されます

2. ヤマホールの使用方法

- 1) 所定量の水をミキサーに投入して下さい
- 2) ミキサーを回転させながら、ヤマホールを規定量添加して下さい。
- 3) ヤマホールがしっかり混ざったら粉末粘土を規定量添加して下さい。
- 4) 十分攪拌させれば泥水は出来上がります（攪拌時間は約5分程度）

3. 製品の性状および包装形態

| | |
|-------|--|
| 外 観 | 灰白色 |
| 成 分 | 天然鉱物 |
| 安 全 性 | 毒物および劇物取締法：毒劇物 該当せず 労働安全衛生法：有機則、特化則、表示物質 該当せず |
| 包装形態 | 18kg 紙袋 |

4. 泥濃式推進工法配合例（1M3用配合）

| | 単 位 | 土質による区分 | | | | | |
|-------|--------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | A | B | C-1 | C-2 | C-3 | D |
| ヤマホール | kg | 18 | 36 | 36 | 36 | 36 | 18 |
| 粉末粘土 | kg | 0 | 0 | 60 | 120 | 180 | 0 |
| 目詰材 | kg | 0 | 0 | 6 | 8 | 10 | 0 |
| 離間剤 | kg | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 水 | kg | 993 | 986 | 956 | 930 | 904 | 993 |

離間剤＝粘土付着防止剤（ネントールL-L・P-Lまたはカイコー1・2）

| 土質区分 | 区分内容 | 土質区分 | 区分内容 |
|------|-----------------------------|------|---------------|
| A | 粘性土（N値5未満）、砂質土（N値25未満） | C-1 | 砂礫土 礫率 30～39% |
| B | 砂質土（N値25以上） 砂礫土（礫率30%未満） | C-2 | 砂礫土 礫率 40～59% |
| D | 粘性土（N値5以上50未満） | C-3 | 砂礫土 礫率 60～79% |

5. 取り扱い上の注意

- ・ 防塵マスク・防塵めがねを着用の上取り扱い下さい。
- ・ 目に入った場合、皮膚についた場合は15分間以上清水にて洗って下さい。
- ・ 吸い込んだり飲み込んだりしたら、吐き出させた後医者への診察を受けて下さい。
- ・ 製品そのものは無害ですが、お取り扱いには十分注意して下さい。